

2023年3月期第1四半期

決算説明資料

名古屋鉄道株式会社

2022年8月8日

連結損益計算書

() は増減率

(単位：百万円、%)

	当第1四半期	前第1四半期	増減	(対前年同期)
営業収益	125,202	108,447	16,754 (15.4)	レジャー・サービス +10,574 交通 +5,604 航空関連サービス +855 運送 +681 不動産 +531 流通 △304 その他 △193
営業利益	4,214	△ 1,813	6,027 (—)	交通 +4,023 レジャー・サービス +2,859 航空関連サービス +6 不動産 △595 その他 △111 運送 △109 流通 △15
経常利益	5,303	1,221	4,082 (334.1)	営業外収益 △1,857 (雇用調整助成金 △1,047) 営業外費用 +87 (整理損失引当金繰入額 +66)
特別利益	788	1,300	△ 512	投資有価証券売却益 △581
特別損失	690	995	△ 304	整理損失引当金繰入額 △286
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,187	△ 854	4,042 (—)	

営業収益 : 【増収】レジャー・サービス事業における観光需要や交通事業における輸送人員が一定の回復をしたことによる増収。

営業利益 : 【黒字化】交通事業やレジャー・サービス事業の収支改善により黒字化。

経常利益 : 【増益】営業外損益は悪化したものの、営業損益の改善により増益。

親会社株主に帰属する

四半期純利益 : 【黒字化】経常増益により黒字化。

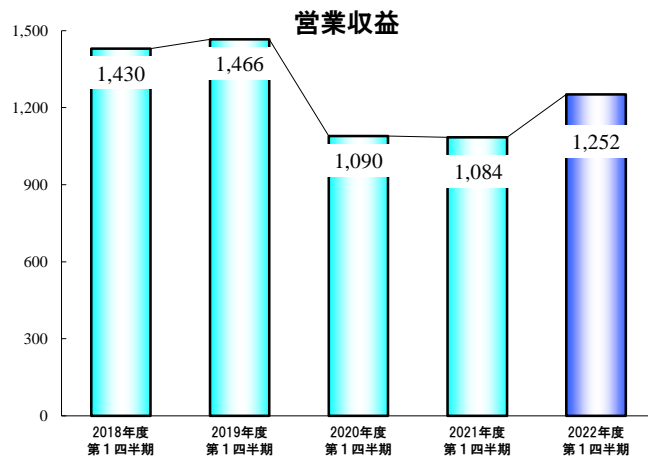
《連結子会社数》 : 107社 (増加 1社) 名鉄ワールドトランスポート (新規設立)

(減少 3社) 名鉄西部交通西部 (被合併)、名鉄西部交通北部 (被合併)、三重名鉄タクシー (株式譲渡)

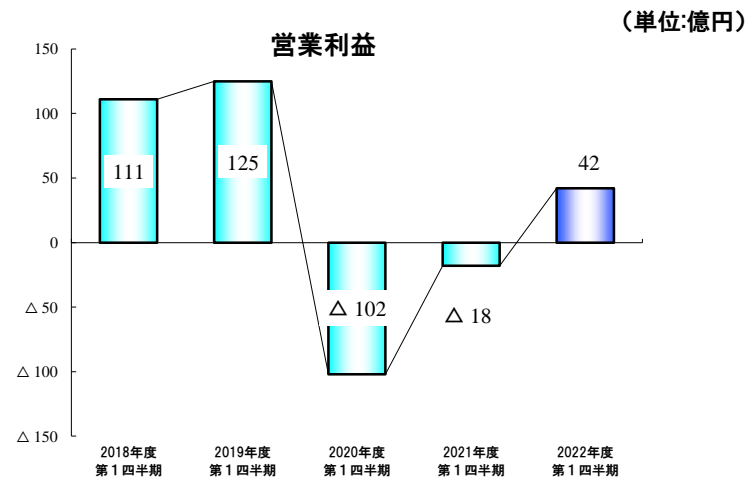
《持分法適用会社数》 : 13社 (増減なし)



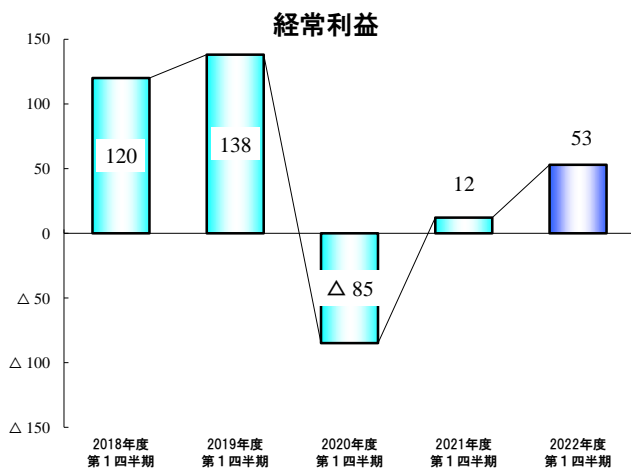
連結業績の推移



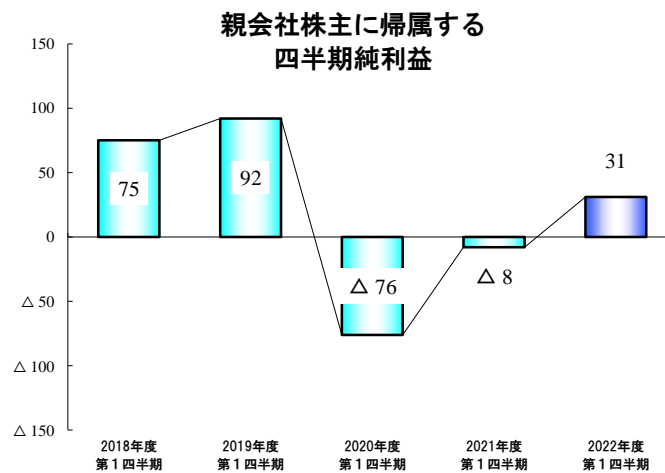
3期ぶりの増収



3期ぶりの黒字



2期連続黒字



3期ぶりの黒字



セグメント別営業成績

(単位:百万円、%)

営業収益	当第1四半期	前第1四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	32,725	27,120	5,604	20.7	緊急事態宣言等が発出された前年同期と比較し、各事業の輸送人員が回復したことによる増収
運送事業	33,758	33,077	681	2.1	トラック事業は減収であったものの、海運事業における旅客需要の回復などにより、全体では増収
不動産事業	19,442	18,911	531	2.8	賃貸事業における駐車場利用や分譲マンション販売の引渡戸数の増加による増収
レジャー・サービス事業	17,833	7,258	10,574	145.7	緊急事態宣言等が発出された前年同期と比較し、観光需要が回復したことにより、全事業で増収
流通事業	15,250	15,555	△ 304	△ 2.0	百貨店業は増収であったものの、輸入車販売業の減収により、全体では減収
航空関連サービス事業	5,207	4,352	855	19.6	航空整備事業の受注増加などにより増収
その他の事業	9,430	9,624	△ 193	△ 2.0	設備工事の受注減少などにより減収
調整額	△ 8,446	△ 7,453	△ 993	—	
合計	125,202	108,447	16,754	15.4	

営業利益	当第1四半期	前第1四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	2,243	△ 1,779	4,023	—	燃料費の増加があったものの、増収により3期ぶりの黒字
運送事業	780	889	△ 109	△ 12.3	燃料費の増加などにより減益
不動産事業	2,047	2,642	△ 595	△ 22.5	前年同期の分譲土地一括販売の反動により減益
レジャー・サービス事業	△ 291	△ 3,151	2,859	—	増収により全事業で収支改善したことにより、赤字幅縮小
流通事業	△ 577	△ 561	△ 15	—	減収により僅かに収支悪化
航空関連サービス事業	△ 152	△ 158	6	—	増収により僅かに収支改善
その他の事業	67	178	△ 111	△ 62.3	減収による減益
調整額	96	127	△ 30	—	
合計	4,214	△ 1,813	6,027	—	

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期	前期末	増減額	コメント
流動資産	209,057	211,596	△ 2,538	受取手形、売掛金及び契約資産の減少
固定資産	977,561	975,301	2,260	
有形固定資産	825,866	825,163	702	
無形固定資産	10,830	11,099	△ 268	
投資その他の資産	140,865	139,037	1,827	投資有価証券の増加
資産合計	1,186,619	1,186,897	△ 278	
流動負債	258,481	264,512	△ 6,030	支払手形及び買掛金の減少
固定負債	516,845	511,253	5,592	社債の増加
負債合計	775,326	775,765	△ 438	
純資産合計	411,292	411,132	160	親会社株主に帰属する四半期純利益 +3,187 剰余金の配当 △2,458
負債純資産合計	1,186,619	1,186,897	△ 278	
連結有利子負債合計	499,311	489,027	10,283	〔参考〕純有利子負債残高 448,835 (前期末比 +10,734)

個別運輸成績

◆輸送人員◆

(単位：千人、%)

輸送人員	当第1四半期	前第1四半期	増減率
定期外	25,694	19,532	31.5
定期	62,895	62,119	1.2
計	88,589	81,651	8.5

◆旅客収入◆

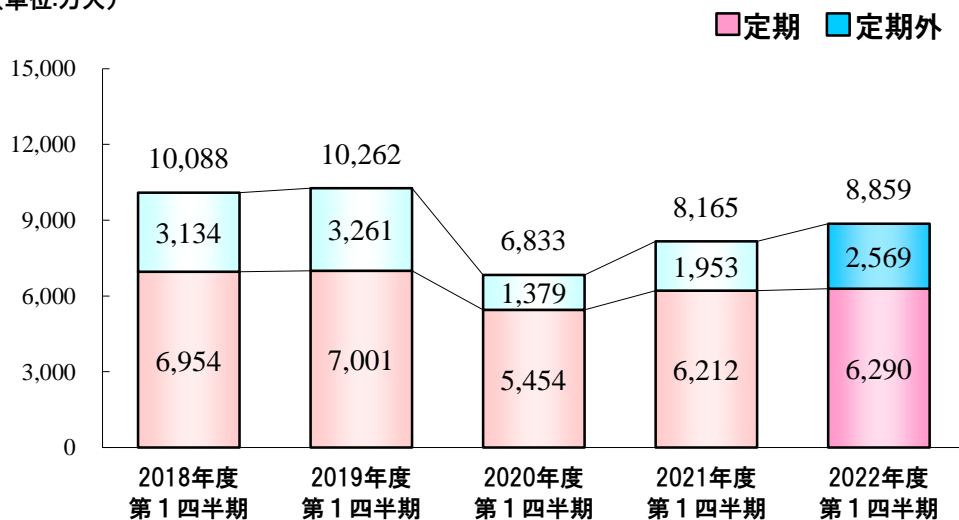
(単位：百万円、%)

旅客収入	当第1四半期	前第1四半期	増減率
定期外	9,688	7,049	37.4
定期	8,933	8,862	0.8
計	18,621	15,912	17.0

(注)定期外旅客収入には特別車両料金を含む。

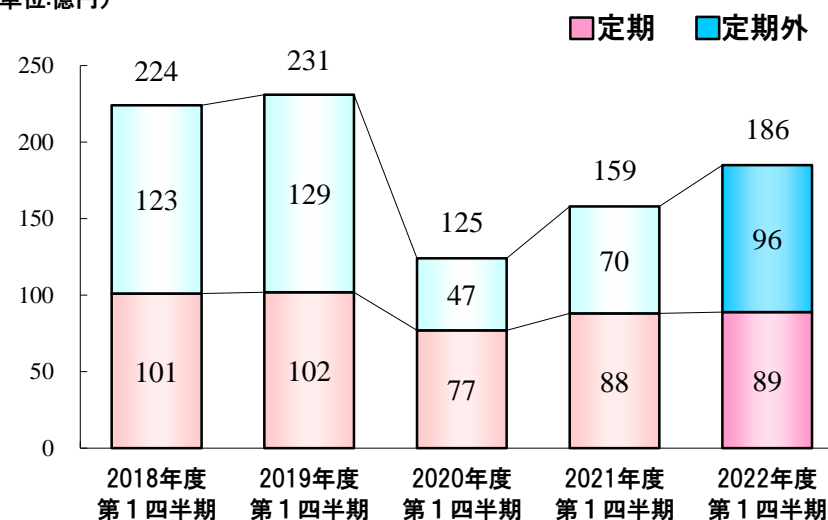
◆輸送人員の推移◆

(単位:万人)



◆旅客収入の推移◆

(単位:億円)



2023年3月期 連結業績予想

() は増減率

(単位：百万円、%)

	2022年度 予想	2021年度	増減	(対前期)
営業収益	547,000	490,919	56,081 (11.4)	交通 +22,055 レジャー・サービス +20,628 流通 +6,548 運送 +5,634 その他 +2,440 不動産 +1,084 航空関連サービス +836
営業利益	21,000	2,932	18,068 (616.2)	交通 +13,660 レジャー・サービス +8,685 運送 +1,214 流通 +854 不動産 △4,685 航空関連サービス △653 その他 △71
経常利益	22,000	13,135	8,865 (67.5)	営業外収益 △8,848 営業外費用 +355
親会社株主に帰属する 当期純利益	16,000	9,370	6,630 (70.8)	特別利益 △25,380 特別損失 △22,446
E B I T D A	59,900	41,470	18,430 (44.4)	※EBITDA：営業利益＋減価償却費
設備投資額	76,300	49,887	26,413 (52.9)	
減価償却費	38,900	38,538	362 (0.9)	
純有利子負債	463,000	438,100	24,900 (5.7)	※純有利子負債：有利子負債－現預金・短期有価証券

通期の連結・個別業績予想ともに前回公表値（2022年5月11日）を据え置き。





業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承下さい。